第146回長崎大学経営協議会議事要録

1 日 時 令和6年6月24日（月）13時30分～15時40分

2 審議事項

(1) 令和7年度概算要求について

理事（財務・施設担当）から、資料2に基づき、令和7年度概算要求に係る文部科学省からの通知を踏まえ、本学の概算要求事項について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、概ね以下のような意見があった。

（◎は学外委員，○は大学側の発言）

◎グローバルリスク研究センターの構想があったが、今回の概算要求に反映されているか。

○現在、令和8年度に要求する方向で進めている。

◎新規で未来教育創造支援センターに関する要求をされているが、今後の計画を伺いたい。

○令和7年度以降も計画を広げていき、島嶼部などでは教員や教育のリソースが不足していることから、DX化を進めるなど県の教育政策にも貢献したいと考えている。

(2) 令和5事業年度決算について

理事（財務・施設担当）から、資料3に基づき、令和5事業年度の財務諸表、それに添える事業報告書及び予算の区分に従い作成した決算報告書について説明があり、審議の結果、了承された。なお、今後、役員会で審議の上決定し、文部科学大臣に提出することとなる旨の補足があった。

(3) 長崎大学病院改革プランについて

病院長から、資料4に基づき、令和6年3月に文部科学省から提示された大学病院改革ガイドラインに基づき、長崎大学病院改革プランを策定したことについて説明があり、審議の結果、了承された。

3 報告事項

(1) 令和5年度余裕金の運用実績について

理事（財務・施設担当）から、資料5に基づき、長崎大学資金運用細則第13条3項の規定により、令和5年度余裕金の運用実績について報告があった。また、長崎大学資金運用細則第15条の規定により、半期ごとの運用実績及び委員会の開催状況を公開することについて併せて報告があった。

(2) 令和7年度及び令和8年度長崎大学入学者選抜の主な変更点について

副学長（入試担当）から、資料6に基づき、令和7年度及び令和8年度長崎大学入学者選抜の主な変更点について報告があった。

なお、概ね以下のような意見があった。

◎女子枠に関する考えた方について伺いたい。

○日本は理工系の女性の割合が低く、その状況を是正するためにも女子枠を設けることで、女性の活躍する場を広げていくことを目指している。

○工学系や情報系では女子学生の先輩が少ないことから、女子学生が行くところではない

というバイアスが働いていると考えられるため、それを是正していくことも重要だと考える。

○基礎学力については、共通テストを課しているため、担保されていると考えている。

○特に理工系においては男子学生が多いことから、教育研究の観点からもいわゆるダイバーシティの視点や感覚を持つことが重要であると考えている。

(3) ファンドレイジング強化にかかる体制・組織整備について

学長及び政策企画部長から、資料7に基づき、ファンドレイザー雇用を含めた本学のファンドレイジング強化にかかる体制・組織整備について報告があった。

なお、概ね以下のような意見があった。

◎組織の中に入れるかは別として、実際に受益する学生や研究者の方々にも資金の必要性をプレゼンしてもらってはどうか。また、ウェブページの目立つところに、実際に基金を受けた経験談を掲載するなどはどうか。

◎国際金融機関では、現金での寄附ではないが、講師を派遣する寄附講座のような取り組みを行っている。

◎卒業生に寄附をお願いするアルムナイドネーションのようなことをしているか。

○国際アルムナイネットワークの整備をはじめているため、それを活用して、外国人留学生の卒業生にも広く周知していきたいと考えている。

(4) NUTIC について

理事（財務・施設担当）から、資料8に基づき、令和6年10月に開業される長崎スタジアムシティに、本学が長崎大学テクノロジーイノベーションキャンパス（Nagasaki University Technology Innovation Campus (NUTIC)）を設置することから、その利用目的や配置の概要について報告があった。

(5) 令和5年度就職状況について

(6) 令和5年度国家試験合格状況について

(7) 令和6年度会計監査人の選任について

(8) 最近の大学の主な動きについて（大学HP掲載トピックスのまとめ）

上記(5)から(8)までの報告事項については、資料配付のみとした。

4 その他

(1) 国立大学法人化後20年について

委員から、法人化して20年経つが、法人化後の課題や結果などあれば伺いたい旨発言があり、次回以降改めて報告することとなった。

(2) 退任の挨拶

議長から、退任する委員の紹介があった後、委員から挨拶があった。

(3) 次回の経営協議会の開催予定について

議長から、次回は令和6年10月3日開催予定である旨説明があった。

(以上)